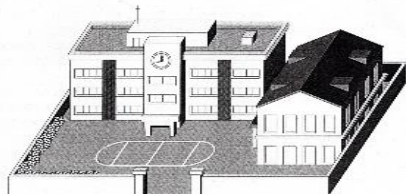


「ガイドブック」による教師の授業改善に向けた取組 ～苓北町教育委員会～

4小1中からなる苓北町では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するため「苓北町授業づくりガイドブック」を作成し、共通実践に取り組んでいる。

苓北町授業づくりガイドブック



令和3年4月
苓北町教育委員会

目次

I 総括	
1 求められる「生きる力」とは	1
2 「授業づくり」に重要なものは	2
II 基礎となるもの	
1 確かな「学級経営」が学力向上の基盤	3
2 「学習規律」が学びの基盤	4
III 授業を構想する	
1 「単元設計」が授業をつくる	5
2 「問題解決的な学習」の展開で	6
3 「詳細設計の工夫」は学びの根源	7
4 子どもの思考を深める「発問」の工夫	8
5 一単元時間の「時間を配分する」	9
6 「人権が尊重される授業づくりの視点」	10
7 「学習構想案」を構想する	11
IV 授業を実践する	
1 「学び力」の基礎として	12
2 「学習形態の工夫」で授業を変える	13
3 授業の中心は「学び合い」の弁奏で	14
4 小グループでの「学び合い」が深まるために	15
5 「学び合い」のスキル	16
6 「見方・考え方」の重視	17
7 「学び力(思考スキル)」を鍛える	18
8 「反応」を鍛える	19
9 全体での「学び合い」が深まるために	20
10 「まとめ」と「振り返り」は重要	21
11 思考を助ける「板書」	22
12 ノートは「思考の作戦基地」	23
V 授業を振り返る	
1 「自分の授業を振り返る」-1	24
2 「自分の授業を振り返る」-2	26
3 「子供の学び」から授業を振り返る	26
4 「主体的・対話的で深い学び」を振り返る	27
5 授業研究会の「真の軌跡」を振り返る	28
6 各種調査結果から授業を振り返る	29
VI 資料	
1 学習の約束（町内小学校の共通理解事項）	30
2 授業記録（授業者自己評価）	31

授業研究3 「子供の学び」から授業を観る

「授業観察」の視点(「子供の姿」から)

「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すためには、「教師の指導のあり方」を中心としていた授業観察から、徹底して「子供の学びの姿」中心の授業観察に変えなければならない。「子供がこのような学び方をしていたのは、教師の指導のあり方が理由である」との子供の姿をもとにした授業改善が不可欠である。

子どもの「学びの姿」観察の視点

○子供の表情を観る…目線・目の動き、表情

- ・生き生きとした目の様子であるか
- ・顔の表情は穏やかで学習に集中した表情であるか
- ・身体の様子ははつとつと学びに向かっていくか
- ・声は一定の音量があり張りのある声になっているか

- 学習に参加していない子供はいないか
- ・学習内容と違った活動をしている子はいないか
- ・人の活動や発言等に対して無反応、無表情の子はいないか

○子供同士の関係を観る

- ・聴き手の子供たちの目線や姿勢、表情はどうなっているか
- ・聴き手がうなずいたり肯定的な反応を示したりしているか

○子供と教師との関係を観る

- ・子供は教師の動きを注視しているか
- ・教師の発問や指示に対して子供の反応は活発か
- ・子供は節度ある言葉遣いをしているか

子供の「学びの姿」から授業を振り返る

子供の「学びの姿」は、授業を映す鏡である。教師の指導のあり方が先ではなく、「子供の姿」から授業を振り返るようにしなければならない。そのために、授業観察の方法も変える必要がある。

- 子供の表情の見える位置で授業を観る。
 - ・教室後方からよりも横や前方の方が表情が見やすい。
- 指導案の流れをなぞりながら授業を観ない。
 - ・指導案どおりに流れる授業がよい授業とは限らない。
- 子供の発言等を具体的に記録しながら観る。
 - ・教師の働きかけと子供の反応の因果関係を明確にする。
 - ・具体的な記録をもとにして授業の改善につなげる。

「子供の姿」こそが授業改善の行きつく先である。

授業研究4 「主体的・対話的で深い学び」を観る

「授業観察」の視点(「子供の姿」から)

「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すためには、「教師の指導のあり方」を中心としていた授業観察から、徹底して「子供の学びの姿」中心の授業観察に変えなければならない。「子供がこのような学び方をしていたのは、教師の指導のあり方が理由である」との子供の姿をもとにした授業改善が不可欠である。

「主体的な学び」観察の視点

○授業の導入の場面で…学ぶ意欲

- ・学習内容に興味・関心を示し意欲が高まったか
- ・問題意識が明確になり、学習課題が自分のものとなったか
- ・追究の見通しを持ったか

○授業展開全体で…粘り強い追究

- ・課題を粘り強く追究していたか
- ・問題、資料、教材等に積極的に取り組んだか
- ・学び合いに進んで関わっていたか

○まとめ・振り返りで…自己の姿や深まりの自覚

- ・自らの学びを自分の言葉でまとめたか
- ・満足感や成就感をもっていたか
- ・次に追究したいことをもつことができたか

子供が主体的に学ぶためには、教師の適切な指導が必要。

「対話的な学び」観察の視点

○発言する子供の数を観る

- ・偏りなく多数の子供が発言しているか
- ・ペアやグループの場で自分の考えを述べているか

○つながりのある発言を観る

- ・他者の発言とつなげて自分の考えを述べているか
- ・接続語を使って発言しているか「例でも」「だから」
- ・中途半端な理解でなく「わからない」などを伝えているか

○視覚的な道具の使い方を観る

- ・ホワイトボードなどに図や絵などをかきながら説明しているか
- ・ネームプレート等を使って自分の立場を明確にしているか

子供の姿を出発点にして、教師の指導のあり方を点検する。

「子供を見取る力」を磨くことが、
授業改善の近道である。

苓北町教育委員会では、「熊本の学び推進プラン」の第3章（授業改善）を焦点化し、今年度4月に授業づくりの基本として「ガイドブック」を作成しました。現在、町内の全職員に配付し、授業改善に取り組んでいます。

また、授業づくりに対する直接指導として、学校教育指導員による訪問指導を、町内全ての授業者に対し年間を通して実施しています。

「学習の約束」として、町内4小学校でそろえた共通事項についても、昨年度から取り組んでいます。